

清々しい午後の田園風景を走る電車。ふと空を見上げると日暈が私たちを見つめていました。幸運を告げるというこの光景が、明るい未来への光となることを願います。(5月14日撮影)

ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく尖り輝いています。このコーナーでは、数ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介します。

県指定名勝 孤蓬庵庭園
 指定日：昭和36年4月26日指定
 所在地：上野町

孤蓬庵は、江戸時代に技術官僚として名を馳せた「小堀遠州」ゆかりの寺院です。遠州は徳川家康に仕えた武人でありながら、歌道や茶道など様々な芸術にも通じた文化人でした。特に茶道においては、千利休や古田織部とともに名が知られ、二人から学んだ茶道を引き継ぎ、大名茶を確立していきました。

遠州没後の承応2年(1653)、父を弔うために息子の正之が、京都大徳寺より僧円恵を招き造ったとされるのが孤蓬庵で、大徳寺に遠州が建立した同名の庵があるので、「近江孤蓬庵」と呼ばれています。当初は今より北西の谷の中にありましたが、宝永6年(1709)に現在地へ移され、庭園もその頃の築造と考えられています。



▲書院より東の池泉式庭園を望む

問 歴史遺産課 ☎65・6510

ます。南庭は奥の自然を背景とし、手前の広々とした緑の空間を水面に見立て、枯滝や舟(蓬船)などを表す石組みを配置し、開放的な時の流れを感じる事ができます。これに対して東庭は、琵琶湖をかたどつたとされる池や、自然の山の傾斜や起伏があり、多様な形の石が配置され、引き締まった趣を演出しています。

春は紫のシヨウジョウバカマが咲き乱れ、秋には紅葉した木々が水面に写るなど、四季折々の美しい庭園の姿を見せてくれます。今の季節は、新緑の木立に差し込んだ春の光が、地面に落ちて揺れる影が見る人の目を楽ませてくれます。

人里離れたひっそりとした空間で、自然と調和した遠州の美意識を体感してみるのもおすすめです。



塩津小学校

自治の力を高める

塩津小学校では、PTAと連携し、あいさつ運動を展開しています。毎年引き継がれるキーワードは、「OKSAR」。Oはおはよう、Kはこんにちは、Sはさようなら、Aはありがとうを表しています。あいさつは、元気の源となり、人と人とのコミュニケーションが図れ、よりよい人間関係づくりができます。

本校では、あいさつ、学習、掃除、廊下歩行、靴そろえなどについて、子どもたち自身が「自分や学級の様子」を振り返るようにしています。月のはじめには各学級で取り組むことを話し合い、月末には実践を振り返り、できたことやもつとががんばりたいことを、校長室で代表の児童が話し合い、それぞれの学級の児童が話し合い、それぞれが紹介するようにしています。自分たちで決めたルールは『守る』、そして『やりきる』風土ができてつとあるところでは。

たてわり活動では、運動会や塩津子祭りなどの場で、高学年のリーダーシップが見られ、とても頼もしく感じています。この姿が見られるのは、手本となる先輩のすばらしい姿があるからであり、その姿をめ

ざしてがんばることが塩津小学校の伝統となっています。

自治力とは、『自分たちの生活を向上させるために、学校や学級の問題を明らかにし、みんなの力で活動の方向性やルールを決定し、協力して目標を達成できる力』と定義し、様々な教育活動を通してその力を育てていきたいと考えています。この力は、学力向上の基礎となる大切な力としてとらえています。心豊かでたくましい塩津子。今後も、子どもたちがよさを発揮し、未来の担い手として心豊かに育ってくれることを願っています。



▲たてわり活動で芋ほり

長浜子どものちかい～わたしたちはちかいます～

- 元気にあいさつをします
- 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします
- 「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言います
- 困っている人がいたら言葉をかけます
- 人の話をしっかり聞きます

長浜子育て憲章～おとなが実践します～

- 子どもに誠実に生きる姿を見せます
- 見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
- ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
- 自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
- 長浜に誇りを持ち、地域に貢献する子どもを育てます



学校・教育関係の情報が満載

▲市教育委員会フェイスブック

人口と世帯数

令和2年5月1日現在

人口	117,388人(-15)
男	57,552人(-18)
女	59,836人(+3)
世帯数	46,451世帯(+92)

()は前月との比較

長浜市の情報をスマホでチェック

長浜市 ホームページ	Facebook 長浜市ほっとにゆ〜す	Facebook 長浜市教育委員会	Instagram #長浜ちびっく	YouTube はま〜るtb.	広報紙をスマホで マチイロ	イベント情報を配信 LINE

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けしているほか、市民交流センターや図書館、街づくりセンターなどの公共施設やスーパー、診療所などにも置いています。また、市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。声の広報も作成していますので、ご希望の場合は市民広報課まで。